



## 新の舞台が目に浮かぶ！大阪の歴史を落語で体験「3D落語」

2012年10月6日  
於「高津宮〜大阪七坂」  
14:00〜18:00

### 上方落語発祥の地と大阪の歴史を学び知る贅の極みを…

昨年、会員の皆様を交えてイベントの企画会議に持ち上がり実現された「3D落語」も一昨年好評であったことを受け、昨年10月6日に高津神社にて落語「高津の富」と「天神山」の2席を落語家の桂文太師に演じて頂きました。一冊千金ノ事は今も昔も人の故〜江戸時代にも「富くじ」といわれる今の宝くじの如きかということから、その「富くじ」がテーマの「高津の富」を舞の舞台である高津神社で聴くというリアル感あふれる演を鑑賞。また、「天神山」は近所のお寺が舞台。幽霊と結婚するというミステリアスな物語。落語鑑賞の後には、2話の舞台となった界隈を散策。生国魂神社に中村さんより大阪の歴史の深さや神社の建築、祀られている神様、ゆかりの人物など興味深いお話をいただきました。その後は大阪七坂をめぐる歴史情緒に触れ、充実のスケジュールで、予定時間を過ぎるの解散となりました。大阪の歴史を違う側面から見聞きする面白さを味わいました。また参加されたことのない会員の皆様にも是非落語にも味わっていただきたいと思ひます。



▲高津宮の二重門 ▲「お伊勢屋」の縁起 ▲生国魂神社の境内を散策 ▲落語 ▲高津宮 ▲天神山

## ねっ子の会と共催で道頓堀は大盛況！「笑らいぶ」

2012年12月1日  
於道頓堀ZAZA HOUSE  
17:00〜19:00

カリスマ漫曲師・国本武春さんの斬新さと迫力に魅せられた道頓堀ZAZAで一夜演曲師として伝統を守りながら、三味線にギターを取り入れられた新しいスタイルの演曲を展開されている国本武春さん。その基にはエンターテナーとしての確立された個性が光る。迫力ある声力と安定感のある節回し…といった絶妙のバランスに酔いしれました。「忠臣蔵」にも少し笑いを取り入れながら「語り」と「三味線」の江戸のコラがはずしりと聴き応えがありました。



### 第二部は「ねっ子の会」の進行による懇親会で賑やかに…楽しい集い・ミナミの夜



道頓堀ZAZA HOUSEで「語り」の集い ▲第二部の進行による懇親会 ▲「笑らいぶ」 ▲山田さん ▲懇親会での声援は盛り上がり ▲ねっ子の会の会場で賑わいの中へ

## 「第4回全国エコツーリズム学生シンポジウム」

東京大学 本郷キャンパス 2012年11月10日

和歌山大学観光学部4回生 堀内 史雄、小笠原 ひかる、津守 美都

はじめまして。私たちは和歌山大学観光学部にて在籍する4回生3人組です。帰って協議会のお手伝いをさせて頂いております。昨年の11月10日に東京大学本郷キャンパスにて開催されました「第4回全国エコツーリズム学生シンポジウム」に関西演習推進協議会をテーマにした発表をさせて頂きました。当日は全国34の大学・専門学校から約230名の学生が参加し、活発な意見交換がなされました。様々な視点からの研究発表を聴き、いい勉強になったとともに、「エコツーリズム」に関心がある他大学の学生とも楽しい交流ができました。この中で、みなさん「エコツーリズム」という言葉をご存知でしょうか？エコツーリズムの定義は「自然・歴史・文化など地域固有の資源を生かした観光を成立させること」です。そこで、私たちは協議会の取り組みを例にあげ、「笑い」という新たな視点からエコツーリズムを捉えるという研究発表をさせて頂きました。「笑い」という切り口は今回初めて提示されたそうで、多くの参加者から「エコツーリズムを新たな視点をとらえることができ、大きな発見があった」との評価をいただくことができました。



また、「笑」の法をお借りしたことで周囲の注目を集めながら多くの方に発表を聴いていただくことができ、大いに協議会のPRもできたと自負しています【笑】今回の発表を通じて「落語」のおもしろさをより一層深く知る事ができたと感じています。ぜひ、今後も協議会の活動に何らかの形で関わっていただけると考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。最後に、今回の発表のために多大なるご協力をいただきました、中井専務理事をはじめ、事務局長の石井さん、堀之内さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

(和歌山大学 堀内 史雄)

### 会員さんご紹介 松本富夫さん・一子さん

おそらく最高齢の会員 松本富夫さん/88歳と一子さん/86歳ご夫妻。

会のハットリをお楽しみに着ごなし、イベントにはいつも二人仲良く参加してくださいませ。中でも落語坊の場所を歩いてまわる3D落語。毎回がその距離を歩いていただく屋外イベントですが皆さんと同じように歩く喜びぶり。そんなおふたりには今回はスポーツをあててみました。

#### Q&A 元元気の秘訣は何ですか？

わたしは従軍体験があるのですが、当時兵士というのは、毎食米1合という状況だった2切れて戦っていました。いつ死んでもおかしなような過酷な時代を乗り越えてきたのですが、それを思えば今の生活で特別に何かに気がつけようと思ったことはなかったですね。国が人の命を受け取り、大阪の中部第23部隊に配属されました。陸軍3000人中、解散命令が下ったときに残っていたのは100人でした。わたしは軍隊とは、違う人だけが生き残れる「運落（うなたい）」だったと実感しています。

#### Q いつの目か過去でもイキイキとして疲れた様子をみたことがありません。

毎日どんな風に通っているのですか？

実はわたし富夫さんは10年前に心筋こうそくで倒れたことがあるのです。

今は元気になりましたが、奇跡的に助かったと思っています。それ以降も外出が多いので娘たちは心配しますが、毎日忙しくはなりません。まず朝は家内と2人でラジオ体操に行くのが日課です。そのあとは民謡、詩吟、カラオケ、ゴルフと手帳の予定もこのようにひしりです。聖路が病院の日野原先生も母唱えています。わたしも10年先の目標をもって10年日誌をつけています。当面の目標は、親子4代でゴルフをすることを楽しみにしています。（富孫さんを入れた親子4代というのは本当に珍しいそうです）

ご紹介しきれないくらい沢山の話を聞きましたが、すべてにおいて大層の、こだわりがなく素直と構えていらっしいます。こんな風に話を聞かせることができたかと思ひました。これからも色々なイベントを通じて交流できるのがとても楽しい松本ご夫妻です。（聞き手 事務局 石井）



元々元気な富夫さん夫婦が語りつづける歴史の物語